

一般財団法人 Ruby アソシエーション

2018年度 第1回通常理事会議事録

開催日時 2018年6月14日(木) 14:00~15:00
開催場所 松江：オープンソースラボ (松江市朝日町478番地18 松江テルサ別館2階)
東京：笹田理事任意の場所、橋本理事任意の場所
福岡：田中理事任意の場所
理事総数6名
出席理事6名 松江：松本行弘(理事長)、井上浩(副理事長)、山根泉(理事)
東京：笹田耕一(理事)、橋本明彦(理事)
福岡：田中和明(理事)
出席監事 今岡正一
事務局：横田早百合(事務局員)、江角俊秀(事務局員)
オブザーバー：周藤万里絵(島根県)、江角治尚(支援スタッフ)

定款第39条の規定により出席理事から井上浩副理事長を議長として選出し、井上副理事長が議長席につき、当財団の理事現在数6名中、定款第40条第1項及び第2項の規定に従い、議長を含め議決に加わることのできる理事6名の出席により定足数を満たしたので本理事会は有効に成立した旨を宣し、テレビ会議システムにより出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認のうえ議事に入った。冒頭、松本理事長より有意義な財団事業の実施に向け本日の議事進行、協議に期待する旨の挨拶があった。

■審議事項

審議事項1：「2017年度事業報告書案」

定款第7条第1項に基づき(審議事項2以降も同様)、議長の指名により横田事務局員が2017年度事業報告書案の説明を行った。

採決の結果、原案どおり可決した。

審議事項2：「2017年度決算案」

議長の指名により横田事務局員が2017年度決算案の説明を行った。

監査を行った今岡監事からは「現預金の今後の用途と、場合によっては定期預金に分散することも検討されるとよい」というコメントがあった。

採決の結果、原案どおり可決した。

■協議事項、その他

協議事項：「2018年度予算について」

議長の指名により横田事務局員が2018年度予算について説明を行った。

議場からは以下のご意見があった。

橋本理事：「5 その他、事業費用」の「1) Ruby 開発及びその他支援事業」「2) 情報発信事業」が前年決算に比べて増えているので、評議員会ではこのあたりの説明を十分行くとよい。

笹田理事：事務局員募集については喫緊の課題だと思うので、募集情報の内容と発信方法含め再度検討されるとよい。

また、例年3月開催の臨時評議員会で前年決算見込をもとに予算案の説明を行っていたため、配布資料には確定した「2017年度 決算」と3月時点の「2017年度 決算見込」が記載されていたが、「2017年度 決算見込」の欄は特別必要でないとのご意見が出たため削除することとなった。

その他：「Ruby アソシエーション開発助成成果報告会について」

議長の指名により江角支援スタッフが、2018年7月7日開催予定のRuby アソシエーション開発助成成果報告会について説明を行った。

その他、議場からは以下のご意見があった。

笹田理事：RubyWorld Conferenceでの10周年企画について進捗があればご報告願いたい。

井上副理事長：その点については実行委員会で協議を重ねており、また後日資料を共有させていただければと思う。

以上この議事録が正確であることを証するため、定款第43条の規定により、代表理事理事長（松本行弘）と出席監事（今岡正一）は、次に記名押印する。

2018年6月14日

上記の通り相違ありません。

一般財団法人 Ruby アソシエーション

代表理事理事長 松本 行弘



監事 今岡 正一

